

JGAGolf Journal



世界を目指したナショナルオープン改革 山中博史 JGA 専務理事インタビュー

日本オープンの世界基準のナショナルオープンへ——JGAは今、3オープン(日本オープン、日本女子オープン、日本シニアオープン)の改革に取り組んでいる。狙いは、世界に通じるナショナルオープンへとステージを上げること。まず、今年からドリームステージの設置など日本オープン出場資格変更を実施した。改革の全貌はどのようなものなのか。

山中博史 JGA 専務理事・オープン事業推進本部チャンピオンシップコミティメンバーに聞いた。



3オープン改革の全貌を語る山中博史専務理事。

——まず、3オープン改革の狙いをお聞かせください。
山中 ナショナルオープンと聞いて頭に浮かぶのは英国の全英オープンであり、米国の全米オープンであると思います。いずれも歴史と権威のある大会で、世界では「メジャー」と呼ばれていることはご存じの通りです。ほかのゴルフ先進国と呼ばれる国のナショナルオープンも同様に、その国を代表する大会という位置づけです。翻って国内を考えた時、果たして日本のナショナルオープンはどうなのか。たとえばコースセッティ

ングや賞金額、予選会も含めた出場人数や出場資格、あるいは大会のホスピタリティーや、レフェリー、大会運営など、他国のナショナルオープンと比較して劣ってはいないだろうか、日本国内だけで「日本オープン」という看板にあぐらをかいているのではないかという思いがありました。今年、日本オープンは80回大会を迎えます。この節目に原点に立ち返ってナショナルオープンとはどうあるべきかを考えていこうというのが改革のスタートでした。

【2015年 日本オープン 変更の要点】

1	ドリームステージ(アマチュア予選会)の創設 ハンディキャップインデックスを所持しているゴルファーなら、在住地区、年齢、性別を問わず参加可能。
2	地区予選の門戸開放 日本プロゴルフ協会ティーチングプロ会員(TCP)への門戸開放。
3	オフィシャルワールドゴルフランキング(OWGR)の参加資格への採用 本選6月1日時点の100位のうち上位5名 最終予選6月1日時点の200位 地区予選4月1日時点のランキングポイント保持者
4	その他、主な本選参加資格の変更 ・日本アマチュア上位者 2014年まで: ベスト4&メダリスト→2015年: 優勝者のみ ・日本学生、日本ジュニア優勝者 2014年まで: 最終予選免除→2015年: 地区予選免除(翌年度) ・前年度ジャパンゴルフツアー賞金ランキング 2014年まで: 20位→2015年: 30位



ドリームステージを告知するポスターを制作し、ゴルフ場や練習場で掲示。

——出場資格に関しては今年、日本オープンで大きな変化がありました。象徴的な例がドリームステージの新設だと思います。

山中 まず、日本オープンの出場資格を持たない人が資格を得るための予選会について考えてみました。昨年までの予選会は一次予選、最終予選の2段階で、ハンディキャップインデックス6.4までのアマチュア選手が一次予選に参加できました。今年は一次予選から名称を変えた「地区予選」の下にハンディキャップインデックス取得者ならば年齢や性別、居住地を問わず誰でも参加できる「ドリームステージ」を新設したのです(ハンディキャップインデックス4.9以下の男子アマチュアは地区予選からの出場資格があります)。これには、「オープン競技だから誰に対してもチャンスを与えよう」という意図と、多くのゴルファーに対するJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得啓発と言う目的があります。ハンディキャップインデックスの制限を設けない予選会は、ゴルフ先進国と呼ばれる国のナショナルオープンでは前例のないもので、海外の関係者からも驚かれました。「ドリームステージ」の今年の出場者はジュニアからシニアまでの幅広い年齢層、そして女子選手も出場し、13歳から71歳の55名が「地区予選」進出を決めました。「地区予選」からはプロ選手も出てくるのでアマチュアとプロが一緒のフィールドで戦うことになります。誰もが日本オープンに挑戦できる一歩を示した、これこそまさにドリームステージの魅力が現れていることだと思います。

——今年関東、東北地区の3会場でドリームステージが開催されました。全国展開ではなく地域を限ったのはどのような理由からですか。

山中 現在、各地区連盟主催の5つの地区オープン(北海道、中部、関西、中四国、九州)の上位者が日本オープン出場権を得る形になっています。今年はトライア

ルの意味合いがあり、まずは地区オープンを開催していない関東、東北でやろうということにしたのです。もちろん来年からは全国展開にすること、そして日本女子オープン、日本シニアオープンにも導入を計画しています。

——ドリームステージは3オープンのさらなる進化の起爆剤になり得ますか。

山中 1回、2回やっただけでは起爆剤になるかどうかは判断できないと思いますが、続けることによって「日本のナショナルオープンはこのような大会です」という意味付けになります。特にJGAは公益財団法人ですから、ゴルファー全員に門戸を広げるナショナルオープンにすることは、非常に大きな意味を持っています。今年も女性も含め、多くの方がエントリーしてくれました。実際にやって分かることもありますから、今年得られた意見や反省、データを来年以降に生かして、よりよいドリームステージにしていきたいと考えています。

——先ほど話に出た地区オープンからの出場枠に関してはどのように考えていますか。

山中 昨年実績で35人が地区オープンから出場しています。ただ、5つの地区オープンは開催時期や開催日数、それぞれの出場資格も異なります。現在行われていない関東オープンや東北オープンも含めてかつては同時期にすべて4日間大会として開催されていましたから日本オープンの予選を兼ねる意義がありましたが、現在の状況ではそれが薄まっていることは否めません。地区オープンはゴルフ振興において重要な位置を占めており、とても大切な競技です。それを考慮しながらも、やはり予選会のシステムはよりよい形に変えていく必要があります。理想は完全予選会化。ドリームステージをボトムにしたきれいなピラミッド型に整備していくことです。来年以降、地区オープンからの出場枠は今後、各地区連盟と話し合いながら見直していく方向で考えています。

— 日本アマなどアマチュアの大会から本選への出場枠が減ったのはどのような理由ですか。

山中 日本オープンの出場枠は、一昨年までの108人から昨年は120人に増やしましたが、10月第3週という開催時期の日照時間を考えればこれが限度。全米オープンや全英オープンも156人ですが、現状では同じ人数にすることは不可能です。この120人という人数を考えた時、アマチュア選手に与えていた出場枠のバランスが多いのではないかという結論になりました。日本アマを例に挙げれば昨年までは予選のメダリストとマッチプレーのベスト4に与えていた本選への出場資格を今年は優勝者のみに絞りました。そのかわり、上位者には「最終予選」への出場資格を付与します。

— 一方で地区予選の出場資格の枠を広げました。

山中 日本プロゴルフ協会のティーチングプロ会員やワールドランキング保持者にも「地区予選」の出場資格を与えました。さらに、ワールドランキング上位200位までの選手が「最終予選」から、ワールドランキング上位100位のうちの上位5人には「本選」からの出場権を与える形にしました。

— 出場資格にワールドランキングを取り入れたということは世界戦略を描いているということですか。

山中 おっしゃる通りです。昨年はたまたま縁あってアダム・スコット選手が出場してくれましたが、出場資格があったわけではなく「特別承認」という形でした。本来は特別承認ではなく世界トップクラスの選手にきちんとした出場資格を与え、出る、出ないは別にして常に世界に開かれたナショナルオープンであることが必要です。それが日本オープンの権威を高めることにもつながっていくと思います。また、近い将来には日本国内だけでなくアジアツアーなどとタイアップしてアジア地区でも予選を開催し、アジア各国の選手に勝ち上がっていけば日本オープンに出場できるという道筋をつくっていきたく考えています。さらに、日本オープンのライブ映像をアジア各国でも視聴できる仕組みをつくりたいという思いもあります。そうすれば、アジアの国々のゴルフファンが自国の選手を、画面を通じて応援できるようになります。日本はゴルフ人口やゴルフ場の数を含め米国、英国に次ぐ世界第3のゴルフ先進国といわれています。その日本のナショナルオープンは少なくともアジアを代表するナショナルオープンであるべきです。



ドリームステージを心から楽しむ出場選手。

— 出場資格を与えたり、海外予選会を新設するだけで世界のトッププレーヤーが興味を示すほど単純なものではないと思いますが。

山中 もちろん今のままでは何も変わらないと思います。賞金額や舞台づくりなど、より魅力あるトーナメントにして世界のトッププレーヤーや海外で活躍している日本人選手にこぞって「出たい」と思ってもらえるようにしなければなりません。賞金額でいえば世界のメジャーの賞金総額は1000万ドルの時代になりました。日本円にして約12億円です。対して日本オープンには2億円。賞金額を上げるには当然財源が必要ですし、簡単ではありませんが、世界と比べて見劣りしないレベルにまで引き上げたいと考えています。

— 舞台づくりについてですが、日本のナショナルオープンのセッティングは物議をかもし場合もありますね。

山中 いいスコアが出ることをよしとしない風潮があったことは確かです。いいスコアを出させないために誰もドライバーで打たないような狭いフェアウェイにしたり、絶対に寄らないような傾斜にカップを切ったりということもあったかもしれません。しかし、それは選手の技量を正しく測る良いセッティングとはいえません。スコアを無理に操作しようとするのではなく、コースの特性を生かしたフェアなセッティングが望まれます。何も優勝スコアをイーブンパー前後に抑え込む必要はありません。10アンダーパーでも10オーバーパーでもいいのです。ナショナルオープンチャンピオンにふさわしいのは、その週に最も心技体が整った選手です。そのような選手が勝てるような舞台づくりが必要です。これも3オープン改革の一環であり、世界的な流れでもあります。実際に昨年あたりからセッティングは変化してきています。選手も日本オープンに対するイメージが変わってきているのではないかと思います。



ハンディキャップインデックスがあれば年齢・性別に関係なく出場できるのがドリームステージの魅力。

— 世界基準の舞台づくりで世界が認めるナショナルオープンへと進化していければいいですね。

山中 メジャーへの出場資格も視野に入れています。現在、日本オープンに勝てば全英オープンに出場できますが、マスターズ、全米オープン、全米プロへの出場資格はありません。しっかりと日本オープンのコンセプトを説明し、ほかのメジャーの出場資格を

与えてもらったり、世界ランキングのポイントのアップも働きかけていきたいと考えています。そのために段階ごとに目標をつくりながら進んでいかなければなりません。世界に通じるナショナルオープンを目指すことで日本人選手の出場枠が減るのではないかという意見があるかもしれませんが、それはボーダレス化している今の時代に合う考え方ではないと思います。内向き思考ではいつまでたっても“井の中の蛙オープン”のまま。世界から置いていかれてしまいます。安西名誉会長も「世界から見て恥ずかしくないナショナルオープンをつくっていきなさい」と言っています。タイガー・ウッズやロリー・マキロイが「出たい」と言ってくれるようなナショナルオープンを目指して改革を進めていきます。

— 期待しています。ありがとうございました。

【2015年度 日本オープンドリームステージ 結果一覧】

会場	グランディ那須白河GC(福島県) 6,385Y/Par72	茨城GC・西(茨城県) 6,488Y/Par72	我孫子GC(千葉県) 6,410Y/Par72
開催日	2015年5月21日	2015年6月4日	2015年6月2日
出場人数	38名(男子36名/女子2名)	109名(男子104名/女子5名)	124名(男子122名/女子2名)
出場者平均年齢(最高/最少)	44.4歳(67歳/14歳)	44.9歳(71歳/12歳)	48.6歳(76歳/13歳)
出場者年齢構成	10代: 4名、20代: 1名、30代: 5名、40代: 14名、50代: 10名、60代: 4名	10代: 13名、20代: 3名、30代: 13名、40代: 34名、50代: 40名、60代: 5名、70代: 1名	10代: 9名、20代: 11名、30代: 7名、40代: 26名、50代: 41名、60代: 27名、70代: 3名
平均ゴルフ歴/月平均プレー回数	18.7年/3.8回	19.1年/5.9回	24.5年/5.8回
出場者平均HDCP(最高数値~最低数値)	8.0(+0.8~28.4)	8.07(+2.6~27.1)	8.4(0.6~23.6)

【日本オープン地区予選】	東松苑GC(栃木県)	大洗GC(茨城県)	浜野GC(千葉県)
開催日	2015.7.22	2015.7.28	2015.7.14
ドリームステージからの進出者数	8名	22名	25名
ドリームステージからの進出者平均年齢	37.75歳	37.5歳	39.5歳
進出者名(年齢/HDCPインデックス)	76: 中島 啓太 (14/+0.8) 守屋 玄 (48/ 6.1) 77: 須崎 友貴 (21) 小野寺清貴 (49) 81: 菊地 隆一 (39/ 0.5) 82: 日比野正憲 (37/ 4.1) 大部 一成 (53/ 3.8) 83: 中村 敦史 (41/ 2.2)	68: 猪狩 広大 (16/ 2.7) 70: 上村 悠 (25/+1.4) 72: 今村大志郎 (36/ 1.6) 渡邊 信之 (41/ 1.8) 73: 早坂 祐樹 (18/+0.3) 74: 白石 哲也 (45/+1.9) 塩田 一史 (48/+1.0) 75: 小宮山和也 (57/ 0.5) 丁 志優 (15/ 1.7) 76: 太田 智喜 (43/+2.1) 三輪有志朗 (13/ 0.0) 77: 北村 嘉基 (20/+2.6) 小玉 雅 (29/ 0.4) 村上 和隆 (59/ 6.5) 78: 植竹 大 (41/+2.5) 山口 善久 (54/ 1.5) 矢ヶ崎隆夫 (57/ 2.5) 山口 信吾 (49/ 8.9) 79: 高野 壮登 (17/ 2.4) 菅本 良治 (50/ 7.2) 本庄 政哉 (44/10.0) 80: 岡 正和 (50/ 6.2)	70: 田中章太郎 (13/ 1.7) 72: 斉藤 史晶 (18/ 1.9) 73: 吉田 歩生 (18/ 2.7) 木下 幸一 (50/ 1.3) 75: 宗形 啓吾 (16/ 27) 吳 英彪 (16/ 0.9) 76: 遠藤 大介 (38/ 5.4) 宮崎 誉大 (21/ 0.6) 勝又 正浩 (51/+1.6) 椎名雄太郎 (21/ 3.9) 草野 博光 (53/ 9.1) 77: 佐藤喜三夫 (49/ 5.9) 小川 晴也 (66/ 6.8) 堀内 吉史 (46/ 7.3) 川上 恭弘 (49/ 5.5) 秋元 大典 (20/ 1.8) 78: 吉田 裕明 (57/ 5.1) 山本 浩 (56/ 3.0) 小倉 正 (71/ 4.8) 海老原寿人 (57/ 6.4) 井上 賢人 (17/ 0.5) 79: 林 和博 (55/ 4.3) 戸田光太郎 (60/ 5.6) 大浦正太郎 (20/10.9) 金子 純一 (50/ 3.4)

各会場を首位で通過した10代のプレーヤー

中島 啓太さん	猪狩 広大さん	田中章太郎さん

国内競技のレベルアップに向けて レフェリー制度の必要性と育成への取り組み

3オープン改革の一環としてJGAはレフェリー制度を昨年から導入している。レフェリー制度とは何か、なぜ必要なのか。JGAの林孝之規則委員長、大場ゆう子日本女子オープンチーフレフェリー、市村元オープン競技チーフールズディレクターがレフェリー制度について語った。



レフェリー制度について語るJGA大場ゆう子日本女子オープンチーフレフェリー(左)、林孝之規則委員長(中)、市村元オープン競技チーフールズディレクター(右)。

— レフェリー制度とはどのようなものなのでしょうか？

林 まず日本におけるレフェリーの現状からお話ししましょう。日本のトーナメントでは競技委員と呼ばれる方々が運営などさまざまな仕事をしており、その中からレフェリーを出すことが一般的です。日本オープン为例に挙げれば、各地区連盟から推薦していただいた競技委員のみなさんからレフェリーが選ばれていました。ただ、野球やサッカーのようにレフェリーのライセンスが存在するわけではありませんので、規則の知識や運用にばらつきがあったのが実情でした。このままではいけないと、専門的な知識とレフェリー技術を持った人材を登用していこうということになったのです。

市村 具体的にはR&Aのルールテストで一定の基準をクリアした方からレフェリーを採用するというものです。昨年の3オープンとアジアパシフィックオープンダイヤモンドカップのJGA主催4大会で実施しました。

— 日本オープンなどでレフェリーをするにはテストを受けなければならないということですね。

林 そうです。

— 海外でも同様のシステムなのでしょうか。

林 R&AもUSGAもそれぞれ独自のテストで一定以上の点数を取った方の中からレフェリーを選定しています。

市村 アジアの各国でもR&Aルールスクールのテストをレフェリーの採用基準としているところが多くなってきています。



2014年日本オープン大会期間中にコースを入念にチェックする市村元オープン競技チーフールズディレクター、林孝之規則委員長。



マレーシアで行われたルールスクールプログラムレベル3のロールプレーの様子。

— 大場さんは5年前から全米女子オープンでレフェリーを務めていますが、現場はどのような状況なのでしょうか。

大場 全米女子オープンのレフェリーを目指している方が非常に多く、みなさん自費で講習やテストを受けています。最初は地区の競技などを経験してレフェリーとしての技術や知識を高めて全米女子オープンや全米オープンのレフェリーを務められるレベルにまで自分を上げていくという形が一般的です。ただ、全米女子オープンのレフェリーに必要な点数を取ったとしてもそれは永久的なものではありません。規則は4年に一度変更されますから、その度にテストを受け、点数が下がってしまえばレフェリーはできなくなってしまいます。実際に全米女子オープンの現場で前年までレフェリーをしていた方が翌年はレフェリーができずに違う仕事をしているという現実を目の当たりにしています。ですから常日ごろからスキルアップに励み、レベルを維持する、あるいはよりレベルを上げていく必要があるのです。

市村 日本では競技運営全般を担当するという意味で競技委員という名称を使用してきました。競技委員はすべての方が規則上のレフェリーの職務を行うわけではありませんので、競技委員を採用する際にレフェリーとしての能力が必ずしも問われるわけではない場合が多いようです。しかし、レフェリーは最終的にプレーヤーに裁定をする権限を持っていることから、レフェ

リーと運営委員を区別し、レフェリーの採用についてはテストによる規則の知識、そして現場での経験を評価する必要があります。R&AとUSGAはそのためにテストや教育プログラムを実施しており、レフェリーとしてコースに立ちたい方は高い基準をクリアしようとして勉強をしています。

大場 現場で感じるのはレフェリーのみなさんの規則に関する知識が非常に高いということ。しかも年々そのレベルが上がっていると感じます。

林 私は全英オープンでレフェリーをさせていただいていますが、同様に知識の高さと層の厚さを感じます。

— 国内でのレフェリー育成のための取り組み教えてください。

林 R&Aが2013年にリリースした規則教育プログラムにのったルールスクールを全国各地で開催しています。このプログラムは3段階に分かれており、レベル1は基本的な規則知識の習得、レベル2はレフェリーとして紛議を解決する程度の知識の習得、レベル3がトーナメント運営者とそのレフェリーを対象としたスクールとなっています。このうち、レベル1、2に関してはR&Aが作成したプレゼンテーション、プログラム、テストを使用してJGAが国内で開催しているのです。

市村 レベル3のみR&Aが直接運営する形になっています。



① ルールスクールの講師はどのような方が務めているのですか？

林 テストで一定以上の得点を獲得し、このプログラムのための訓練を受けた者が講師を務めます。たとえば、レベル2の講師をするにはレベル3で80%以上の得点を取っていることが必要です。現在、男女合わせて約10名が講師を務めています。

ルールスクールは受講者のみなさんに非常に好評だという手ごたえがあります。また受講したい、あるいはほかの人にも受講してもらいたいという声を数多くいただいています。



② ルールスクールの具体的な内容をお話してください。

林 レベル2を例に挙げますと、規則の各規定の説明、解釈から重要裁定の解説、レフェリー技術などの講義に実際に競技で起きた事例のVTRを見ながらレフェリー対応の考察、さらにはコースキットを使用したのロールプレーを実施しています。そして最後に筆記テストが行われます。

③ コースキットとは？

林 人工芝などでつくった模擬的なコースです。パッティンググリーンからバンカー、ウォーターハザードなどさまざまな状況に対応できるような形になっています。



市村 バンカーには模擬の砂が入っています。本来はコースを使用してできればいいのですが天候の問題などもありますので、室内でできるようにコースキットを準備したのです。

④ ルールスクールの開催実績はいかがですか？

林 2013年5月に国内で初めてのルールスクールを開催して以来、約40会場で開催し、約1400名の方が参加しています。受講者のみなさんには非常に好評で、また受講したい、あるいはほかの人にも受講してもらいたいという声を数多くいただいています。

大場 レベル1に関しては本当に入門編なので、これからゴルフを始めようという方や、もう一度ルールの基本から勉強したいという方にもぜひ受講していただきたいと思っています。



① レフェリーに話を戻したいと思います。現在、日本オープンなどでレフェリーをできる方はどれくらいいるのですか？

林 ルールスクールやテストは資格を付与するという性質のものではないので明確な人数を申し上げることはできません。たとえば日本オープンですと約20人のレフェリーが必要になります。日本オープンでレフェリーをできる基準をクリアしている方は何とかその数を満たせる程度で、十分な人数がいるとは言えないですね。

② その基準はR&Aが定めているのですか？

市村 それぞれの国で事情が異なりますから、各国の協会に任されています。JGAのオープン競技では一定の基準を設けていますが、もし日本で統一したレフェリー資格を作るのであれば、JGAだけでなく、日本プロゴルフ協会、日本女子プロゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構なども連携しながら模索していく必要があると思います。



大場 レフェリーを選ぶための基準はテストの点数だけでなく、レフェリーとしての資質が重要になってくるということもありますね。

① ルールスクール、室内講義の様子。
② バンカーのコースキットを使用した講義の様子。
③ パッティンググリーンのコースキット。
④ 実際のコースを使用した講義の様子。

① レフェリーとしての資質ですか？

林 非常に大切な部分です。レフェリーは単に規則を知っているというだけでは務まりません。大切なのは選手と良いコミュニケーションをとるということです。規則に関する知識を正しく現場で適用するには選手に正しく伝え、理解してもらうことが絶対に必要です。「オレがレフェリーだ」というように大上段に構えていては混乱を招くだけです。裁定するのは人ではなく、規則なのです。いくら規則に精通していても、そこをはき違えてはいけません。テストのスコアがすべてではなく、テストでスコアをとることは最低限のことであり、そこからのプラスアルファが実は重要なのです。

市村 国によっては机上のテスト以外に独自に現場力を試すテストを実施しているところもありますね。

大場 すべては選手のためだと思います。規則を熟知していない方やコミュニケーションがうまく取れない方がレフェリーをしていては選手がかわいそうです。

② レフェリー制度の将来像はどのように描いていますか？

林 ゴルフはよく「レフェリーのいないスポーツ」だと言われますが、正しくは「ほとんどの場合レフェリーの立ち会いなしに行われる」ということです。実際、規則書には「レフェリー」という定義が明確に規定されています。プライベートのラウンドではレフェリーがいないのが当たり前で、競技でもすべての選手のすべてのプレーを見ているわけではありません。しかし、レフェリーはルーリングの裁定など規則上重要な役割を占めているということをまず理解していただきたいと思います。将来は日本オープンなどの大きなトーナメントだけでなく、地区やクラブ単位ですべての競技でレフェリー制度が浸透することが理想です。そのためにはより多くの方に正しい規則を勉強していただきたい。日本における規則の知識は「言い伝え」によるものが多いと感じています。「先輩がこう教えてくれたから」あるいは「うちのクラブではこう言われている」というようなものです。正しく伝えられていけばいいのですが、残念ながら間違った「言い伝え」が少なくないのが現状です。正しく勉強することで正しく規則を知り、多くの優秀なレフェリーが育っていくことを期待しています。

③ 本日はありがとうございました。

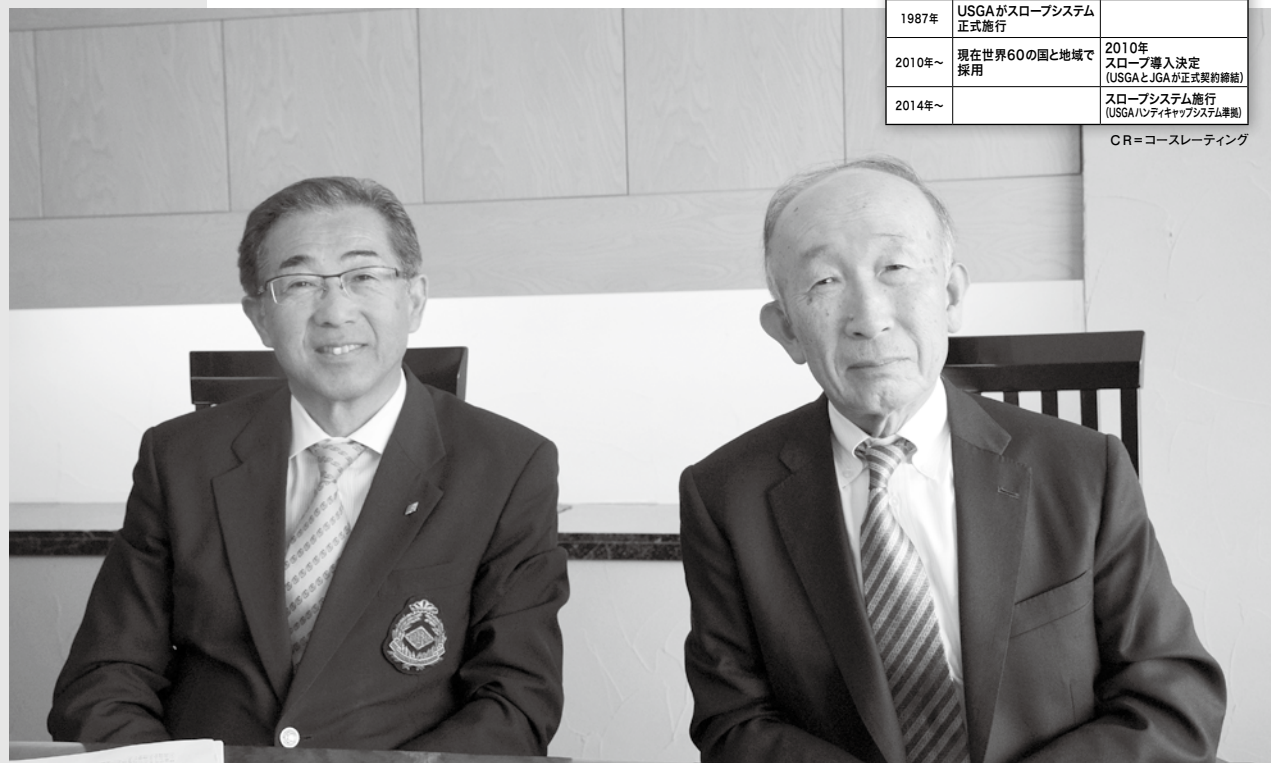
インデックス取得会員1000人突破の片山津GC。 広がるスロープシステム

昨年1月1日に導入された新たなJGAハンディキャップシステム(USGAハンディキャップシステム準拠、通称スロープシステム)が広がりを見せている。片山津ゴルフ倶楽部(石川県)ではすでに1000人を超える会員がハンディキャップインデックスを取得。どのような取り組みを行ったのか、小杉善嗣ハンディキャップ委員長と北川勝義支配人に聞いた。

【ハンディキャップの歴史】(概略)

年代	欧米	日本
17世紀後半	HDCPの概念広まり始める	
1900年頃	英国女子連盟が初のCR開発	
1911年	USGAが初めてCR導入(全米アマ優勝者のスコア)	
1920年代~	全米各地区でHDCPシステムの改善案考案	1950年代 JGA HDCP制度導入(USGA制度を参考に開発)
1960~70年代	USGAが障害難易度査定法を考案 現行HDCP制度の基礎完成	1978年 旧JGA制度施行(USGA制度を参考に開発)
1979年	USGAがスロープシステム開発着手	
1987年	USGAがスロープシステム正式施行	
2010年~	現在世界60の国と地域で採用	2010年 スロープ導入決定(USGAとJGAが正式契約締結)
2014年~		スロープシステム施行(USGAハンディキャップシステム準拠)

CR=コースレーティング



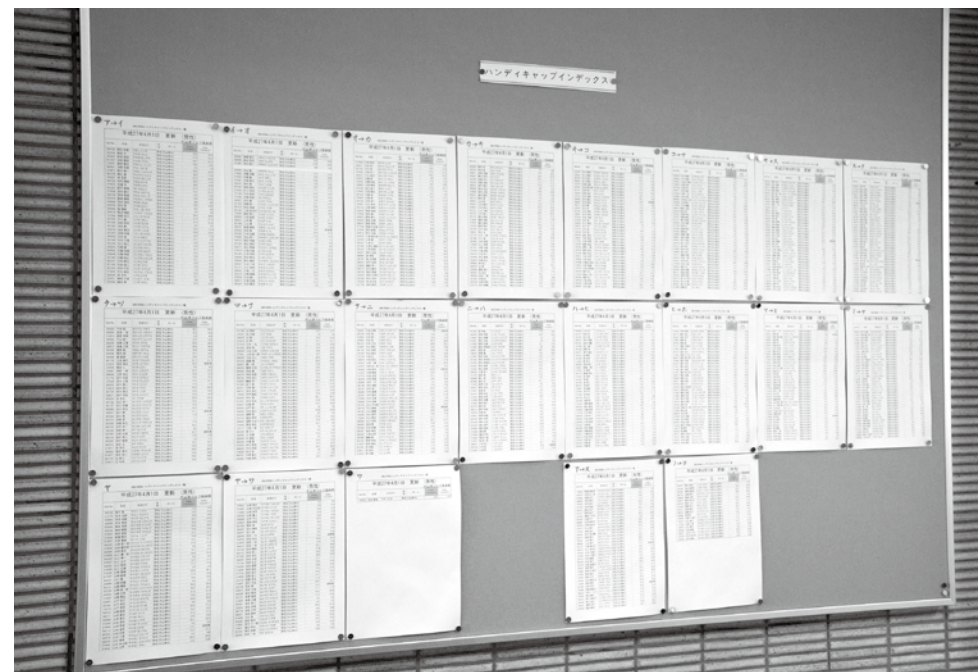
スロープシステムの浸透ぶりを話す北川勝義支配人(左)と小杉善嗣ハンディキャップ委員長(右)。

— スロープシステム採用から1年余りですが、ハンディキャップ(以下HDCP)インデックスの取得状況はいかがでしょう。

小杉 4月末時点で1130人の会員が取得しています。従来の倶楽部HDCP取得者は約1200人でしたから、ほぼ同数です。ただ、倶楽部HDCPを持っている方で稼働しているのは700~800人程度。HDCPインデックス取得者は実際に現在プレーされている方ですから、1130人というのは相当な数です。倶楽部HDCPからHDCPインデックスに完全に移行したといえるでしょう。

— 会員の皆さんの反応はいかがですか。

北川 昨年の10月に月例会参加者を対象にしたアンケートを実施しました。その結果、「HDCPインデックスの方が面白い」と答えた方が59%だったのに対して「倶楽部HDCPの方がいい」と答えた方は12%にすぎませんでした。残りは「どちらでも変わらない」という方。HDCPインデックスが受け入れられているというのが数字ではっきりと分かりました。また、昨年からの月例会参加者が増加しています。これはHDCPインデックスが起爆剤になっていることに間違いありません。



片山津GCクラブハウス内に掲示されている会員のHDCPインデックス表。4月末時点で1130人の会員がHDCPインデックスを取得している。

— 実際にどのくらい増えているのですか。

北川 平均して1割5分ほど増えています。

小杉 当初は果たして従来通りの申し込みがあるのかという心配をしていました。ところがHDCPインデックスを初めて採用した昨年3月の月例会でいきなり2割ほど増えたのには驚きました。

北川 片山津では冬季は積雪などのために月例会は開催せず、3月がその年最初の月例会となります。みなさん冬の間はほとんどプレーをされていませんから本調子ではない方が多く、3月の月例会は出足が鈍く例年枠を埋めるのが大変でした。それが、あっという間に埋まったのです。

— なぜ参加者が増えたのでしょうか。

北川 従来の倶楽部HDCPよりもHDCPが増えたというのがきっかけになっているようです。「HDCPインデックスってよく分からないけど、こんなにももらえるのなら出てみよう」という反応をされる方が多かったですね。

— 倶楽部HDCPから一気にHDCPインデックスに切り替えたわけですね？

北川 会員の中からは倶楽部HDCPを残そうという意見は当然ありました。

小杉 私も最初は当面はHDCPインデックスと倶楽部HDCPの「二刀流」でいかに得ないのではないかと考えていました。

北川 実際に「二刀流」でやっている倶楽部もあると聞いていました。ただ、「二刀流」ではHDCPインデックスへの理解を深めることが難しい。事務的な労力も大変ですし、やるからには中途半端はいけないと一本化を決断いたしました。

— HDCPインデックス採用決定までの経緯はどのようなものでしたか。

小杉 ハンディキャップ委員会では2~3年前から議題に上っていました。HDCPインデックスは世界でこれだけ通用しているものです。それを片山津がいち早く採用し、推進していくことの意味は大きいはずだと。私どもは北陸3県で最古の、そしてリーディング倶楽部としての誇りとプライドがあります。他倶楽部からの来場者から「スロープシステムを利用したい」と要望があった場合に、それに対応できないようでは名門とはいえません。我々が先頭を切ることで、普及にも貢献できるだろうという思いもありました。

北川 ただ、現場を預かる私としては「小杉委員長、そうおっしゃいますけど手間もかかりますし大変なことですよ」という感じで、新ハンディキャップ導入についてはどちらかと言えば、抵抗勢力の立場でした。ところが、2013年に飛田秀一前理事長から「JGAが2014年からの導入を決めたのだから、その方向で進むのが自然なこと」という指示があったのです。トップの判断ですから、議論の余地などなく「導入ありき」の方針が固まったわけです。

白山コース		
ティームアップ	スロープレー	コースレイアウト
バック	138	74.5
レギュラー	131	72.0
フロント	125	70.1
レディース	128	72.9
加賀コース		
バック	135	73.5
レギュラー	128	70.8
フロント	123	69.3
レディース	120	69.8
日本海コース		
バック	129	71.5
レギュラー	124	69.8
フロント	123	69.5
レディース	128	72.7

キャディーマスター室前の柱に掲示されている各コースのスロープレーティング。



「我々が先頭を切ることで普及にも貢献できる」と話す小杉ハンディキャップ委員長。

小杉 「やる、やらない」の議論をしていけば時間がかかったかもしれません。やると決まっただけの支配人の動きは早かったですね。

北川 やるとなったらまずは本丸のハンディキャップ委員会が推進役を担ってやらなくてはなりません。その意味では小杉委員長の理解と後押しは本当にありがたかったです。委員や会員および従業員に説明するのは自分ですから、まず自分が理解し、自分の言葉で説明していかなければならない。JGAの資料(JGAハンディキャップ規定)を何度も読み返し、分からない部分はJGAに電話で問い合わせもしました。

小杉 何度も説明会をやっていただきましたよね。先ほど申し上げたようにハンディキャップ委員会では以前からスロープシステム採用を考えてはいましたが、私を含めてそれほど知識があったわけではありませんでした。支配人が自分の言葉で分かりやすく説明してくれたおかげで、徐々にではありましたが委員の理解が深まってきました。

北川 どのように説明すれば理解してもらいやすいのだろうといろいろ考えました。HDCPインデックスは現在の力量を表すものですが、それだけの説明ではなかなか分かってもらえない。そこで「力量」を「体重」に置き換えて「体重計みたいなのですよ」と説明することにしました。若いころは50キロだった人が太って今は70キロになったとしましょう。倶楽部HDCPはかつての「50キロ」を表す性質がありますが、HDCPインデック

スは今現在の体重を表すものです。しかも、毎日体重計に乗っていれば多少の変動はありますよね。HDCPインデックスはその変動も反映させたものですよ。

— そして2014年3月の月例会から採用。

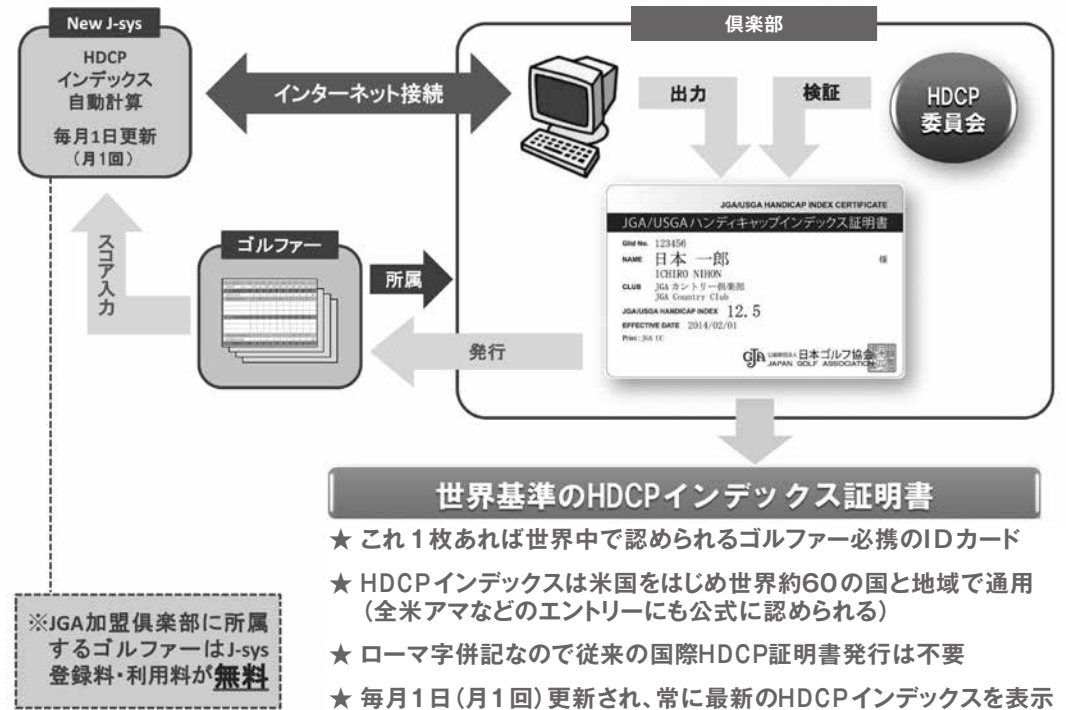
北川 スロープシステムに切り替えるにはまず月例会参加者にHDCPインデックスを取得していただかないといけません。その作業を事務局で行いました。月例会に出ている300人程度のスコアデータを前年末に私を含め数人で打ち込んでHDCPインデックスを算出したのです。事後承諾となりましたが、ハンディキャップ委員長名で「月例会の新しいHDCPを決めさせていただきました」というような文章を発送し、みなさんに了解をいただいた次第です。競技委員会からは反対意見がありましたが、何度も話し合って理解していただきました。

小杉 少し強引でしたが実際にやってみることで理解を深めてもらいたいという意味合いもありました。

— 300人もものデータを打ち込むことも含め、切り替えには相当な手間がかかったのではないのでしょうか？

北川 実際にやってみると、それほどの苦労じゃないです。スロープシステムへの切り替えにはお金も手間もかかると考えている方が多いように感じますが、そんなことはないとはっきり言えますよ。今では会員のみなさんへ順調に浸透していると感じます。プライベートのラウンドでもHDCP換算表を見て「きょうは白山コースを回るからお前とは2枚だな」という会話も聞

【世界基準のHDCPインデックス証明書発行の流れ】



- 世界基準のHDCPインデックス証明書**
- ★ これ1枚あれば世界中で認められるゴルファー必携のIDカード
 - ★ HDCPインデックスは米国をはじめ世界約60の国と地域で通用(全米アマなどのエントリーにも公式に認められる)
 - ★ ローマ字併記なので従来の国際HDCP証明書発行は不要
 - ★ 毎月1日(月1回)更新され、常に最新のHDCPインデックスを表示

こえてきます。

小杉 片山津の場合は幸いなことに90ホールを有しているということがスロープシステムの理解に少なからず貢献していると思います。今年、日本女子オープンが開催される白山コースが他のコースより難しいことを会員は知っています。たとえば日本海コースならばHDCP差10でやれるプレーヤー同士が白山コースならば10では足りないということを実感しているはずですよ。スロープシステムはそれをうまく調整してくれるものだと納得してくれています。中でも私の感覚では女性の理解度、納得度が高いですね。

北川 従来の倶楽部HDCPボードも廃止して、現在は掲示板となっています。毎月更新されるHDCPインデックスは何枚かに分けてプリントアウトしたものを掲示している形です。

小杉 もう少し美しく、重みのあるものにしたいですね。

北川 登録者数はもっと増えていこうし、最終的にはHDCPインデックスボードのようなものをつくりたいですね。ただ、毎月HDCPが変動するわけですから、それに対応できるような様式を考えていく必要があります。

— 課題や要望はありますか。

北川 スロープシステムが順調に普及していったとしても、やはり日本には日本のゴルフ文化というものがあり、その代表的な例が倶楽部HDCPだと思います。たとえ腕が落ちたとしても、ベストの時代のHDCPがそのプレーヤーの看板になるという文化です。HDCPインデックス証明書は最新のHDCPしか記入されていません。その点を寂しがるプレーヤーは少なからずいると思います。年に1回でもいいですから通常のものとは別に自己最高のHDCPも印字された証明書を発行していただけないかと考えています。カード型の少しかちりしたものを。酒の席などで「オレはいい時はここまでいったんだよ」と話題が広がるかもしれないですね。

小杉 それは大事ですね。

北川 有料でもいいと思います。たとえば、初めて10を切った時に記念に発行してもらいたいという人がいるかもしれない。それを見て、ほかのゴルファーが「自分もHDCPインデックスを取得したい」と考えるかもしれないですね。スロープシステムをより広めていくために、何かゴルファーの心をくすぐるような工夫をJGAから仕掛けていってほしいと思います。

— 貴重なご意見ありがとうございます。

オリンピック競技への取り組み

オリンピックへのゴルフ競技参加は1900年開催の第2回パリ大会(男女参加)、1904年のセントルイス大会(男子のみ参加)以来、2016年リオ・デ・ジャネイロ大会(以下「リオ大会」)で復活しましたが、実に112年振り、大会開催まで約400日と迫りました。今回の特集では、オリンピックゴルフ競技の日程、日本代表選手の候補となる強化指定選手・代表選手になる為の出場資格や競技方法、ゴルフ会場となる新設コースの近況、又5年後に迫る東京大会のゴルフ会場にも触れてみたいと思います。

1. オリンピック大会、ゴルフ競技の日程等概要

〔第31回オリンピック2016年リオ大会〕

・2016年度JOC認定 オリンピックゴルフ競 技強化指定選手	2015年度男女日本ツアー終了時点(12月前後) のゴルフ世界ランキング日本国籍男女8名ずつ (選考方法参照)
・ゴルフ競技オリンピッ ク日本代表選手選出	2016年7月11日時点の男女別ゴルフ世界ラン キングにより選出(選出方法参照)
・日本代表結団式・ 壮行会	2016年7月初旬
・大会開催期間	2016年8月5日(金)開幕式～21日(日)閉幕式 《選手村開村》7月24日～ 《男子ゴルフ競技》8月11日～14日(4日間) 《女子ゴルフ競技》8月17日～20日(4日間)

〔第32回オリンピック2020東京大会〕予定

・大会開催時期	2020年7月24日(金)～8月9日(日) 《男子ゴルフ競技》7月30日～8月2日(4日間) 《女子ゴルフ競技》8月5日～8月8日(4日間)
---------	--

2. 第31回オリンピック2016年リオ大会概要

■都市情報等

- ・東京～リオ・デ・ジャネイロ飛行時間：北米経由、欧州経由、中東経由で、平均24時間前後(乗り継ぎ時間を除く)
- ・日本との時差：マイナス12時間(例：東京正午はリオ同日真夜中12時)
- ・大会時期の平均気温(リオ・デ・ジャネイロ/東京)

資料：世界気象機関データ

	7月		8月	
	リオ	東京	リオ	東京
最高気温(℃)	25.3	29.0	25.6	30.8
最低気温(℃)	18.4	22.5	18.9	24.2

※リオ大会の8月は上記より若干高温

- ・大会概要予定：参加205カ国・地域、選手・関係者数約10,500名、28競技27会場

■ゴルフ競技関連

《ゴルフ競技フォーマット…男女共通》

〔競技方法〕

個人戦72ホールストロークプレーで金、銀、銅を決定する。

〔出場選手の選出方法と選手総出場枠〕

2016年7月11日時点の男女別ゴルフ世界ランキング(以下「ランキング」)で出場選手が選出され、出場選手枠は男女とも各60名まで。

- ①ランキング上位15位迄の選手は、1ヶ国につき4名まで出場できる。
- ②16位以下は、1ヶ国につき2名まで出場できる。
(例：15位以内に1名のみの国は、16位以下の1名と合わせ2名となる)
- ③大会ホスト国であるブラジルは、最低でも1名の出場枠は保証される。
- ④各々5大陸(アフリカ、アメリカン、アジア、ヨーロッパ、オセアニア)から、最低でも1名の出場枠は保証される。

〔日本代表選手の出場枠〕

参考:2015年6月5日時点では、上記②枠で男子2名、女子2名の合計4名出場できる。

《ゴルフ開催会場となるオリンピックゴルフコース》

コース周辺とホール間を覆うのは、この地特有の砂地帯とそこに点在する原生の灌木が茂るラフエリア。ラフエリアの中にアンジュレーションの強いグリーンとフェアウェイが配置され、大西洋からダイレクトに吹き付ける強い風のハザードとフラットな地形が相まって更に難度を高めたレイアウト。豊かな原生林には、様々な種類の鳥や蝶、イグアナや小型ワニ



リオ大会オリンピックゴルフコース
砂地帯と低木に覆われたエリアがグリーン近くまで侵入。

まで生息する周辺環境の中で、コース設計者はトランプナショナル・ドラル・ブルーモンスターコースの改修でも著名な米国人Gill Hanse氏。112年振りの五輪競技復帰を記念する新設コースは、選手村から車で約15分圏内の好立地。

3. リオ大会開催までの強化策

■JOC認定オリンピックゴルフ競技強化指定選手制度
JOCはオリンピック競技大会で、実施される正式競技の日本代表として、参加可能な者をオリンピック強化指定選手として年度別に認定。選手の選考基準はゴルフ対策本部(注)が設定し、JOCが選手を認定。オリンピックに向け効果的な強化活動が展開できる様、JOC、文科省が各種強化特典を設けバックアップしている。選手の認定限度数は、ゴルフ競技では男女8名ずつ、合計16名。

(注)ゴルフ競技対策本部⇒強化選手の選出基準や強化方法等すべてはゴルフオールジャパンとしてJGA、JGTO、PGA、LPGAのゴルフ競技4団体で協議し、決定しています。

〔本年度2015年度強化指定選手選考基準〕

・男子：2014年度JGTOツアー最終戦ゴルフ日本シリーズ競技終了時点の男子世界ランキング300位以内で日本国籍を有する上位から8名迄。

認定選手：松山英樹、小田孔明、岩田寛、片山晋呉、谷原秀人、近藤共弘、藤本佳則、小平智

・女子：2014年度LPGAツアー最終戦LPGAツアーチャンピオンシップ競技終了時点の女子世界ランキングで日本国籍を有する1位から8位迄。但し、8位までの中で欠員が生じた場合は、次順位の者から欠員の人数分順次繰り上げる事が出来る。

認定選手：大山志保、横峯さくら、成田美寿々、森田理香子、上田桃子、鈴木愛、酒井美紀、原江里菜

■ゴルフ競技に特化した強化拠点での利用

ゴルフ競技の強化拠点施設として、宮崎フェニックス・シーガイア・リゾートが昨年10月指定された。ゴルフ競技に特化した強化器具やサポート環境は、利用費含め国費で賄われ、男女オリンピック強化指定選手は

2014年冬季のオフシーズンより、温暖の地宮崎で日数無制限で施設利用し、強化に繋げている。更に強化指定選手の特典として、スポーツ医科学の専門医師、研究者から競技力向上のサポート体制が完備したJISS(国立スポーツ科学センター)、NTC(味の素ナショナルトレーニングセンター)で、自身の健康・体力・栄養チェック、スイング解析等定期的に受けている。又ツアー競技中での怪我等の治癒に対しても的確な処置が受けられる為、強化選手は今日まで、これらの諸施設を多数有効利用しております。

4. 第32回オリンピック2020東京大会 ゴルフ会場概要

■IOC理事会は霞ヶ関カンツリー倶楽部を ゴルフ競技会場として承認

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(IOC)及び関係競技団体等と協議を進めていたが、本年2月ブラジル・リオデジャネイロで行われたIOC理事会において、「ゴルフ競技会場である霞ヶ関カンツリー倶楽部(KCC)を東京2020大会の競技会場として承認する」旨、平成27年3月13日JGA及びKCCは大会組織委員会より報告を受けた。

■10月より改修工事開始

倶楽部側として従来から進められていた東コースの改修計画は、オリンピックの競技会場決定と相まって、国際ゴルフ連盟(IGF)のホモロゲーション(承諾)の基、本年10月頃より改修工事がスタートします。大会1年前の競技開催同時期の2019年夏季にはプレイベント(オリンピック本番のチェック、模擬競技)を予定しております。数々の国際大会を経験した日本を代表する当コースは、世界舞台として、TV・報道機関を通して世界に発信される期間も、あと5年となりました。

JGAは引き続き2020東京大会及びゴルフ競技成功に向け、大会組織委員会、東京都、IOC、IGF、ゴルフ対策本部、KCC等 関係団体と良好なパートナーシップを築く為、情報共有含めコーディネーターとして大きな役割を担っていきます。皆様の温かいご支援ご協力を頂きながら、ゴルフ界が更なる発展と普及に向け、オリンピックを盛り上げていきたいと思ひます。